

2月

スマイル

寒さに負けずに



年が明け、3学期が始まったと思ったら、あっという間に2月を迎えました。8日は節分、4日は立春です。暦の上では春ですが、寒さはいよいよ本番。子供は風の子といいますが、インフルエンザ等の流行もあるので、健康に気をつけ、元気に1年間のまとめに取り組めるようにしていきたいと思います。また、今年度もスマイルクラスからの卒業生がいます。自信をもって中学校に進学できるように支援していくとともに下級生と一緒に毛野南小での残り少ない日々を楽しく過ごせるようにしていきたいと思います。

わいわいでいすかっしょん

足利市手をつなぐ親の会の行事である『わいわいでいすかっしょん』が、東部地区は、1月29日(月)に毛野中学校を会場に行われました。前半は、川田理恵さんのご指導で、親子ヨガをしました。互いに呼吸を合わせていろいろなポーズをしました。後半は、子供たちはDVD観賞、保護者は、毛野中学校卒業生保護者の方から「中学校卒業後について」のお話を聞きました。足利中央特別支援学校への登校の様子や、作業学習、職場実習などについて、具体的なお話をいただきました。また、小中学校の保護者から質問もあり、子供たちの将来に向けて参考になるお話を聞くことができました。

スマイル遠足 華蔵寺公園 2月7日(水)

卒業するスマイルクラスの6年生との楽しい思い出をつくるとともに、公共交通機関の利用という目的があります。日頃乗ることの少ない、電車・バス・タクシーなどに乗って目的地まで行くということは、子供たちのこれからの生活になくしてはならない力です。

電車の切符を券売機で買う、自分で切符を持って改札口を通る、電車やバスに一般の方たちと一緒に乗るなど、公共の場での行動についても、実際にいろいろな場所で経験させたいと思っています。お昼も買う予定で、皆、楽しみにしています。



困っている様子の人がいいたら 声をかけよう

こまっている様子の人がいいたら、勇気を出して「こんにちは 何かお困りですか？」と声をかけてみましょう。

このときに、困っている様子の人、障害者かそうでないか、外見で判断できないこともたくさんあります。また、実際には困っていない人や、困っていることを自分で解決しようとしている人もいます。

そのようなときは、その人の意思を確認しましょう。

困っている様子の人にやさしく声をかけることは、障害の有無の関わらず共に支え合う「共生社会とちぎ」実現に向けた第一歩です。 ～ 栃木県障害者差別対応指針より～

先日友人から、「電車からベビーカーを下ろす手伝いをしようしたら断られ、残念な気持ちになった。」という話を聞きました。親切と思ってしたことを断られたため、驚いたようです。自分でなんとかしようとして工夫している人だったのかもしれないということをお話すると、「こちらは親切だと思っていても、本人に確認することが必要だったんだね。」と納得していました。対話をして歩みよりながら、互いの理解を深めることが大切です。

